

ロジスティクススペシャリストを目指して

第99期 物流技術管理士 資格認定講座

〈名古屋開講〉



CERTIFIED LOGISTICS MASTER COURSE

第99期物流技術管理士資格認定講座開催日程

| | | | |
|----------|---------------------|----------|---------------------|
| プレミーティング | 9月 5日(水)～ 9月 6日(木) | 第8単元 | 11月14日(水)～11月15日(木) |
| 第1単元 | 9月19日(水) | 第9単元 | 11月29日(木) |
| 第2単元 | 9月20日(木) | 第10単元 | 11月30日(金) |
| 第3単元 | 9月21日(金) | 第11単元 | 12月 5日(水) |
| 第4単元 | 10月 4日(木)～10月 5日(金) | 第12単元 | 12月 6日(木) |
| 第5単元 | 10月10日(水)～10月11日(木) | 第13単元 | 1月16日(水)～ 1月17日(木) |
| 第6単元 | 10月16日(火)～10月17日(水) | 面接試験 | 2月 9日(土) |
| 第7単元 | 11月 8日(木)～11月 9日(金) | 資格認定証授与式 | 3月 8日(金) |

第99期 物流技術管理士資格認定講座 開催にあたって

未曾有の被害をもたらした東日本大震災の発生から一年以上が経過しました。震災によって分断されたサプライチェーンは、物流・ロジスティクスに携わる関係者のご尽力により驚くべきスピードで回復しましたが、被災地の復興や原発問題など、依然として深刻な課題が山積しております。被災地が速やかで力強い復興を遂げるためにも、ロジスティクスの果たす役割に対し非常に大きな期待が寄せられています。

一方、これからの世界経済情勢に目を向けますと、中国やインド等の新興国の経済成長率に若干鈍化の兆しが見られますが、今後も世界経済を牽引していくことが予想されます。わが国の産業が、これらの新興国市場において競争優位を確立するためには、グローバルレベルでのネットワークを形成し、市場ニーズに連動した全体最適なロジスティクスを構築することが重要であり、経営課題に位置づけて取り組む必要性があります。

わが国が震災から一日も早く復興するとともに、企業がグローバル市場の中で勝者となるためには、物流やロジスティクスに関する広範な知識やマネジメント技術を実務において活用できる優れたスペシャリストの育成が不可欠であります。

当協会では、物流やロジスティクスについて総合的かつ体系的に学んでいただくために、「物流技術管理士資格認定講座」を開講いたしております。理論と実務を踏まえた講義内容は、産業界からも高い評価をいただき、これまでに8,500名を超える「物流技術管理士」が誕生し、各分野で活躍しておられます。

2012年度において、本講座は第100期目の開講を迎えます。引き続き、産業界のニーズに即したカリキュラムのもとに講義やグループ演習を行い、ロジスティクススペシャリストの育成とヒューマンネットワーク構築に資する講座として実施してまいります。ぜひ本講座を積極的にご活用くださいますようお願い申し上げます。

公益社団法人
日本ロジスティクスシステム協会
会長 西田 厚聰
(株式会社東芝 取締役会長)



物流技術管理士資格認定講座とは CERTIFIED LOGISTICS MASTER COURSE

<本講座のねらい>

・本講座は、物流管理者・物流技術者として必要とされる物流・ロジスティクス全領域にわたる専門知識およびマネジメント技術を体系的に習得した、物流・ロジスティクスのスペシャリストを育成します。

<本講座の特徴>

- ・本講座を修了し、所定の試験に合格された方には、「物流技術管理士(英文名称:CERTIFIED LOGISTICS MASTER)」の資格が授与されます。製造業、流通業、物流子会社、物流事業者、情報システム関連企業、調査研究機関等、様々な企業の方々が受講し、これまでに8,500名を超える物流技術管理士が誕生しています。
- ・本講座は、プレミーティングと13の単元で構成されています(計21日間)。講義、先進企業事例、演習を通じて専門知識とマネジメント技術を習得し、さらに計4回(延7日間)行われるグループディスカッションを通じて、実務で活用できる実践力を身につけます。
- ・本講座では、単元ごとに受講レポートを作成し、講義で習得した内容を自社の業務へどのように適用すべきか検討します。提出されたレポートは所属する企業へフィードバックされます。
- ・本講座では、グループディスカッションや懇親会等を通じて、受講者同士の情報交流や人的ネットワークの構築を促進します。様々な企業の方との交流により、業務における新たなヒントや、幅広い視野を得ることができます。

受講対象

1. 物流に関する基本的な用語を理解している方(※物流実務経験2年程度)
 2. 「物流技術管理士補」の有資格者
- ※本講座は上記の要件を満たしている方を対象とした講義内容となっています。

資格認定規程 (一部抜粋)

○出席に関する規程:

全講義日数21日のうち、16日以上出席すること。また、所定の単元を欠席していないこと。

○レポートに関する規程:

前・後期2回分の受講レポートを提出していること。

○試験に関する規程:

客観試験(前・後期に2回実施)、論文試験、面接試験の全てを受験し、それぞれの試験の得点が満点の6割以上であり、かつ、全ての試験の合計点から欠席点と受講レポート遅延の減点を引いた総合点が60点以上であること。

※資格認定規程については、開講式にて詳細を説明します。ご不明な点がございましたら、事務局までお問い合わせください。

活用目的

| 自社の物流・ロジスティクス人材育成 キャリアパスへの組み込み | 物流専門知識の習得・実践力の強化 | | 異業種交流・ ヒューマンネットワークの構築 |
|--|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 将来の幹部候補、リーダー候補の育成 ● 物流・ロジスティクスのスペシャリストの育成 | <ul style="list-style-type: none"> ● 物流・ロジスティクスの全領域にわたる専門知識の習得と体系的整理 ● トータルコスト低減に資する知識や技法の習得 | | <ul style="list-style-type: none"> ● 異業種の受講者との交流や情報交換による視野の広がり ● ヒューマンネットワークの構築によるビジネスの拡大 |
| | <製造業・流通業> | <物流事業者、物流子会社> | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ● 委託先物流事業者の指導・管理に必要な実物流に係る知識の習得 ● 調達、生産、販売など他部門への提案力・調整力の強化 | <ul style="list-style-type: none"> ● 顧客視点で物流を捉えることによる改善策立案能力や改善実践力の強化 ● 提案営業力や3PL実践力の強化 | |

「物流技術管理士」資格取得者の声

物流技術管理士になられた方々の感想や、これから本講座の受講を考えている方へのメッセージ等を、当協会ホームページに掲載しておりますので、是非ご覧ください。
<http://www.logistics.or.jp/education/clm.html>

「物流技術管理士」資格取得者の活躍状況

| | |
|--------------|--|
| A社（自動車製造業） | 海外販社向け補給部品の船積出荷において、各部門の生産性向上に向けた施策を実施し、リードタイムを約70%短縮し、コストも削減させることができました。 |
| B社（総合物流業） | 住宅建材におけるトレーサビリティシステムを活用し、物流品質を改善した。また、邸別一括物流体制を確立した。 |
| C社（倉庫業） | 住宅建材メーカーの物流を再構築（物流拠点集約、物流業務費の変動費化等）し、総物流コストを約40%削減した（2009年度 JILS 物流合理化賞を受賞）。 |
| D社（食品系物流子会社） | 配車配送システムを活用し、復路輸送の空荷を防止し、運行効率を向上させた。 |
| E社（自動車部品販売業） | 新卒、新入社員向けの数十時間にわたる研修プログラムを策定し、社内教育を実施した。 |
| F社（物流子会社） | 物流改善に関する社内教育を実施した。また、JILSのセミナー等、外部で自社の事例を発表した。 |
| G社（物流子会社） | 社内に限らず、親会社の社内教育の講師を担当した。 社内勉強会のグループリーダーの大半は、物流技術管理士の資格取得者が担当している。 |
| H社（食品卸売業） | 社内教育の一部の講師を、物流技術管理士の資格取得者が担当している。 |
| I社（総合物流業） | 親会社の社内コンサルタントとして活躍し、その成果が認められ、分社化し、コンサルティング会社として独立した。 |
| J社（総合物流業） | JILSが主催する研究会において講師を務めた。 |

物流技術管理士専門委員会 委員

本講座は、公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会が主催し、第一線の学識経験者、実務家、専門コンサルタントで構成される「能力開発委員会 物流技術管理士専門委員会」によって企画・運営されています。

<委員名簿>

2012年6月現在（順不同、敬称略）

| | | |
|------|--------|---|
| 委員長 | 渡邊 一衛 | 成蹊大学 理工学部 情報科学科 教授 |
| 副委員長 | 後藤 泰三 | 戦略物流研究所 所長 |
| 〃 | 三木 楯彦 | 流通工学研究所 代表 |
| 委員 | 興村 徹 | (株)日通総合研究所 経済研究部 部長 |
| 〃 | 黒坂 真一 | (株)中央ロジスティクス 運輸事業本部 企画部 部長 |
| 〃 | 酒井 路朗 | エルディーシー研究所 所長 |
| 〃 | 重田 靖男 | (株)東京ロジスティクス研究所 顧問 |
| 〃 | 林 正啓 | 日本ロジスティクスシステム協会 JILS 総合研究所 客員研究員 |
| 〃 | 坂 直登 | 坂技術士事務所 代表 |
| 〃 | 福島 和伸 | 城西大学 経営学部 教授 |
| 〃 | 藤巻 二三年 | (株)日本ロジスティクス研究所 代表取締役 |
| 〃 | 丸山 正晃 | アクセンチュア(株) 経営コンサルティング本部 サプライチェーン&イノベーショングループ パートナー |
| 〃 | 矢野 裕児 | 流通経済大学 流通情報学部 教授 |
| 〃 | 山田 登 | オリンパスロジテックス(株) 代表取締役社長 |

| | | |
|----|--------|---------------------------------------|
| 委員 | 湯浅 和夫 | (株)湯浅コンサルティング 代表取締役社長 |
| 〃 | 秋葉 淳一 | (株)フレームワークス 代表取締役社長 |
| 〃 | 伊藤 秀行 | (株)ピー・アイ物流企画 代表取締役 |
| 〃 | 鈴木 三弘 | (株)ケーエルシー 執行役員 Management Director |
| 〃 | 丹下 博文 | 愛知学院大学 大学院 経営学研究科 教授 |
| 〃 | 津田 博 | 近畿大学 経営学部 経営学科 教授 |
| 〃 | 松井 滋 | 名港海運(株) 取締役 輸入第2部長 |
| 〃 | 右田 政三 | (株)デンソーロジテム 顧問 |
| 〃 | 小野 義 | ロジ企画 ONO 代表 |
| 〃 | 佐久間 慎二 | 日本ロジスティクスシステム協会 JILS アドバイザー |
| 〃 | 寺内 石一 | (株)フリーロケーション 代表取締役 |
| 〃 | 長坂 悦敬 | 甲南大学 経営学部 教授 |
| 〃 | 弥谷 恵太郎 | 加藤産業(株) 常務取締役 システム本部長 |
| 〃 | 山名 良幸 | 鴻池運輸(株) 西日本支店 総務部 課長 |
| 〃 | 山根 六三郎 | シンク・テック・サービス(株) 代表取締役 |

プレミーティング

プレミーティングではグループ演習とその結果発表を通じて、問題発見、課題抽出及び課題解決技法について学ぶとともに、受講者間のヒューマンネットワークの構築を図ります。

会場：
名古屋銀行協会

| 日時 | 講義名称 | 講義内容 | 講師 |
|--------|-------------|---------------------------|---|
| 9/5(水) | 10:00-12:00 | 開講式・記念講演・オリエンテーション | 記念講演 鈴木 三弘 氏 (株)ケーエルシー 執行役員 Management Director(第43期物流技術管理士) |
| | 13:00-18:00 | ■グループ演習 問題の発見と解決 | 問題の抽出とその整理、問題の評価と課題設定、課題対策の立案 ※グループ演習では、約10名程度のメンバーでディスカッションを行います。 |
| | 18:30-20:00 | ◆懇親会 | ※名刺を多めにご用意ください。 |
| 9/6(木) | 9:30-16:30 | ■グループ演習 問題の発見と解決、発表・講評 | ※初日に続きディスカッションを行い、その後グループ発表を行います。 |

第1単元

経営とロジスティクス

「ロジスティクスの高度化」は経営戦略上の最重要課題の一つとして位置づけられています。この単元では、経営の視点から、ロジスティクスの役割、顧客サービスの考え方及び情報システムの役割機能等について学びます。

会場：
名古屋銀行協会

| 日時 | 講義名称 | 講義内容 | 講師 |
|---------|-------------|-----------------------|--|
| 9/19(水) | 9:30-11:30 | 1. 企業価値を高めるロジスティクスの役割 | 湯浅 和夫 氏 (株)湯浅コンサルティング 代表取締役社長 |
| | 12:30-14:00 | 2. ロジスティクスにおける顧客サービス | 顧客とは、ロジスティクスにおける顧客サービスマネジメント、顧客満足のすすめ方 等 |
| | 14:10-15:40 | 3. ロジスティクス戦略とネットワーク | ロジスティクス戦略とは、ロジスティクスネットワーク、ネットワークの設計 等 |
| | 15:50-17:40 | 4. ロジスティクス IT 概論 | ロジスティクスにおける情報システムの役割・機能、情報システム構築のポイント、物流 EDI 等 |

第2単元

ロジスティクスの社会的役割

ロジスティクスは経済活動や国民生活を支える社会基盤としての役割を持っているため、ロジスティクスを担う企業は社会全体の効率や事業継続性を考慮して活動し、国はビジョンを示す必要があります。この単元では、標準化、CSR及び行政の動向について学びます。

会場：
名古屋銀行協会

| 日時 | 講義名称 | 講義内容 | 講師 |
|---------|-------------|----------|-------------------------------------|
| 9/20(木) | 9:30-11:00 | 1. 標準化 | 標準化の意義と方法、物流関連規格(JIS)、ユニットロードシステム 等 |
| | 11:10-14:25 | 2. CSR | コンプライアンス、物流関連法規、労務管理等 |
| | 14:35-16:35 | | リスクマネジメント、保険 等 |
| | 16:45-17:50 | 3. 行政の動向 | 行政の取組み、物流施策大綱、支援施策等 |

第3単元

包装技術

包装は、サプライチェーン全体に深く関わっています。この単元では、包装の目的、機能、設計及び削減方法等について様々な視点から学びます。

会場：
名古屋銀行協会

| 日時 | 講義名称 | 講義内容 | 講師 |
|---------|-------------|-----------|--|
| 9/21(金) | 9:30-15:30 | 1. 包装技術概論 | ロジスティクスにおける包装の役割、包装の考え方、包装設計基礎、包装に関する法規制 等 |
| | 15:40-16:40 | 2. 企業事例 | 包装資材削減事例 等 |

| 第4单元 | | 輸配送管理 | 製造業・流通業における物流費の約6割は輸配送に関連する費用です。この单元では、物流の中核機能である輸配送管理に関する概論、情報技術の活用及びシステム構築等を講義や個人演習を通じて学びます。 | 会場： 名古屋銀行協会 |
|---------|-------------|------------------------|--|---------------------------------------|
| 日時 | 講義名称 | 講義内容 | 講師 | |
| 10/4(木) | 9:30-14:30 | 1. 輸配送管理概論 | 輸送モードの特徴、運賃・料金体系、輸送関連の法制度、モーダルシフト、ユニットロード 等 | 大塚 正視 氏 (株)トータルロジスティクス研究所 代表取締役 |
| | 14:40-17:10 | 2. 輸配送における IT 活用 | 輸送モード別 IT 活用の概要、支援技術、配車管理・運行管理・動態管理 等 | (株)セイノー情報サービス |
| 10/5(金) | 9:30-16:30 | ■個人演習 3. 輸配送システムの構築 | 輸配送システム構築のポイント、共同輸配送、クロスドッキング 等 | 坂 直登 氏 坂技術士事務所 代表 |

| 第5单元 | | 物流拠点管理 | 在庫保有コストや納品リードタイムを考慮した物流拠点管理はロジスティクス戦略を決める上で重要になります。この单元では、物流拠点管理に関する実務的な技法や知識を学ぶとともに、保管・荷役の機能、マテハン機器及びWMS等について、講義や演習を通じて学びます。 | 会場： 名古屋銀行協会 |
|----------|-------------|------------------------|---|--|
| 日時 | 講義名称 | 講義内容 | 講師 | |
| 10/10(水) | 9:30-17:00 | ■グループ演習 1. 物流拠点管理概論 | 物流拠点の役割・機能、流通チャネルと拠点配置、レイアウト技法 等 ※グループを再編成し、新たなメンバーとともにケーススタディに取り組みます。 | サカタウエアハウス(株) |
| 10/11(木) | 9:30-12:30 | 2. 保管・荷役とマテハン機器 | 保管・荷役の機能、倉庫の種別と倉庫管理のポイント、保管コスト、マテハン機器の特徴 等 | 鈴与(株) |
| | 13:30-15:30 | 3. 物流拠点における IT 活用 | 拠点管理における IT 活用の概要、WMSの目的と機能 等 | (株)フレームワークス |
| | 15:40-17:40 | 4. 生産性と品質管理 | 拠点管理における生産性とその向上、組織の活性化、物流品質とは 等 | 重田 靖男 氏 (株)東京ロジスティクス研究所 顧問 (第20期物流技術管理士) |

| 第6单元 | | 科学的管理技法 | 物流業務の現状把握・分析・評価・改善をするためには、科学的管理技法の活用が有効です。この单元では、VA、IE、OR、QC等の基礎知識や物流現場における実践的な改善方法について、講義や演習を通じて学びます。 | 会場： 名古屋銀行協会 |
|----------|------------|-----------------------|--|----------------------------------|
| 日時 | 講義名称 | 講義内容 | 講師 | |
| 10/16(火) | 9:30-17:30 | 1. 科学的管理技法概論 | 管理技術とは、科学的管理技法（VA、IE、OR、QC） 等 | 渡邊 一衛 氏 成蹊大学 理工学部 情報科学科 教授 |
| 10/17(水) | 9:30-16:30 | ■個人演習 2. 物流現場の改善技法 | 問題のとらえ方、分析手法、物流改善の技法、改善事例 等 | (株)日本能率協会コンサルティング |

| 第7单元 | | 総合演習① | 総合演習①では、グループに分かれてケーススタディに取り組みます。これまでに学んだ知識や技法を十分に活用し、業務改善や課題解決に取り組む際の実践力の習得を目指します。 | 会場： 名古屋銀行協会 |
|---------|-------------|---------|--|-------------------|
| 日時 | 講義名称 | 講義内容 | 講師 | |
| 11/8(木) | 9:30-10:30 | 前期客観試験 | 前半講義（第1～第6单元）の講義の理解度を確認します | 事務局 |
| 11/8(木) | 11:00-18:30 | ■グループ演習 | 物流改善に関するケーススタディ ※グループを再編成し、新たなメンバーとともにケーススタディに取り組みます。 | (株)日本能率協会コンサルティング |
| 11/9(金) | 9:30-16:30 | 物流改善演習 | | |

第8單元

物流コスト管理

物流コストを削減するためには、物流コストを適切に把握し、管理することが必要です。この單元では、物流コスト管理の基礎知識や物流ABC等について、講義や演習を通じて学びます。

会場：
名古屋銀行協会

| 日時 | 講義名称 | 講義内容 | 講師 |
|----------|-------------|---------------------|---------------------------------------|
| 11/14(水) | 9:30-12:30 | 1. 物流コスト概論 | ロジ・ソリューション(株) |
| | 13:30-16:30 | 2. 物流ABC | 岡田 和典 氏 岡田ビジネスティベロップメンツ 代表取締役社長 |
| 11/15(木) | 9:30-16:30 | ■個人演習 3. 物流コスト計算 | ロジ・ソリューション(株) |

第9單元

在庫管理とSCM

商品ライフサイクルの短縮化やサプライチェーンのグローバル化に伴い、企業経営における在庫管理の重要性は高まっています。この單元では、在庫管理やSCMについて、理論と実践の両面から学びます。

会場：
名古屋銀行協会

| 日時 | 講義名称 | 講義内容 | 講師 |
|----------|-------------|---------------|---|
| 11/29(木) | 9:30-12:00 | 1. 在庫管理とSCM概論 | 圓川 隆夫 氏 東京工業大学 大学院 社会理工学研究科 経営工学専攻 教授 |
| | 13:00-15:30 | 2. 在庫管理の実務 | 芝田 稔子 氏 (株)湯浅コンサルティング コンサルタント |
| | 15:40-17:10 | 3. SCMの実務 | 平山 基 氏 (株)シーモット 代表取締役 |

第10單元

グローバルロジスティクス

市場のグローバル化が進み、各国企業との競争が激化する中で、わが国企業が競争優位を確立するためには、グローバルレベルで最適なロジスティクスの構築が重要となります。この單元では、グローバルロジスティクスの概論、国際物流の基礎知識及び諸地域の物流事情等について学びます。

会場：
名古屋銀行協会

| 日時 | 講義名称 | 講義内容 | 講師 |
|----------|-------------|-------------------|---|
| 11/30(金) | 9:30-11:30 | 1. グローバルロジスティクス概論 | 丸山 正晃 氏 アクセンチュア(株) 経営コンサルティング本部 サプライチェーン&イノベーショングループパートナー |
| | 12:30-14:30 | 2. 国際物流の基礎 | 石原 伸志 氏 東海大学 海洋学部 航海学科 国際物流専攻 教授 |
| | 14:40-16:00 | 3. 諸地域の物流事情 | 野村 和久 氏 三井物産(株) 物流本部 西日本物流部 関西物流室 マネージャー |
| | 16:10-17:00 | 4. 企業事例 | グローバルロジスティクスの取り組み事例 ヤマハ(株) |

第11單元

物流アウトソーシングと3PL (サードパーティロジスティクス)

物流・ロジスティクス関連業務のアウトソーシング化が進む中で、最適なロジスティクスを構築するためには、企業間の連携が重要です。この單元では、物流アウトソーシングの目的、3PL企業の役割及び契約の重要性やポイント等について学びます。

会場：
名古屋銀行協会

| 日時 | 講義名称 | 講義内容 | 講師 |
|---------|-------------|-------------------|----------------------------------|
| 12/5(水) | 9:30-16:30 | 1. 物流アウトソーシング、3PL | 寺内 石一 氏 (株)フリーロケーション 代表取締役 |
| | | 2. 3PLと契約 | |
| 12/5(水) | 16:40-17:10 | 論文試験出題 | 事務局 |

第12單元

グリーンロジスティクス

ロジスティクス分野においても、地球環境問題について積極的に取り組まなければなりません。この單元では、ロジスティクス分野における環境問題を俯瞰し、法制度、行政の動向、環境負荷低減方策及び環境負荷の定量的把握方法等について学びます。

会場：
名古屋銀行協会

| 日時 | 講義名称 | 講義内容 | 講師 | |
|---------|-------------|-----------------------|---|---|
| 12/6(木) | 9:30-11:30 | 1. グリーンロジスティクス概論 | ロジスティクスと環境問題（グリーンロジスティクスとは）、環境関連法制度、行政の動向 等 | 矢野 裕児 氏 流通経済大学 流通情報学部 教授 |
| | 12:30-14:30 | 2. 輸配送・物流拠点における環境負荷低減 | 環境負荷低減方策事例（モーダルシフト、エコドライブ等）、環境配慮型物流拠点、包装資材等における環境負荷低減 | 菅田 勝 氏 ㈱ロジスティクス革新パートナーズ 代表取締役 |
| | 14:40-16:10 | 3. リバースロジスティクス | 循環型社会形成とは、静脈物流、廃棄物・リサイクル関連法規、再資源化 等 | 山根 六三郎 氏 シンク・テック・サービス(株) 代表取締役 |
| | 16:20-17:50 | 4. 環境負荷の算定 | 環境負荷の定量的把握とは、環境負荷算定の考え方とその方法 等 | 北條 英 日本ロジスティクスシステム協会 ロジスティクス環境推進センター 副センター長 |

第13單元

総合演習②

総合演習②では、グループに分かれてケーススタディに取り組みます。これまでに学んだ知識や技法を十分に活用し、物流改革に関するケーススタディに取り組み、この講座の受講成果を測ります。

会場：
名古屋銀行協会

| 日時 | 講義名称 | 講義内容 | 講師 | |
|---------|-------------|--------------------------|--|------------------------|
| 1/16(水) | 9:30-10:30 | 後期客観試験 | 後半講義（第7～第12單元）の講義の理解度を確認します | 事務局 |
| 1/16(水) | 11:00-18:00 | ■グループ演習 物流改革演習 | 物流改革に関するケーススタディ ※プレミーティング時のグループ編成で、自身や他メンバーの成長を確認しつつ、課題解決を図ります。 | ㈱ロジスティクス・サポート & パートナーズ |
| 1/17(木) | 9:30-17:00 | | | |

面接試験

2/9(土)

10:00-17:00

(1名 15分程度の面接)

会場：未定(名古屋市内会場を予定)

資格認定証授与式・懇親会

3/8(金)

15:00-17:30

(資格認定証の授与)

会場：
名古屋銀行協会

2012年度物流技術管理士資格認定講座開催日程

| 単元 | 開催期 開催場所 | 第96期 | 第97期 | 第98期 | 第99期 | 第100期 | 第101期 |
|----------|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | | 東京 | 大阪 | 東京 | 名古屋 | 東京 | 大阪 |
| プレミーティング | | 5月10日(木) | 6月6日(水) | 7月12日(木) | 9月5日(水) | 9月13日(木) | 10月4日(木) |
| | | 5月11日(金) | 6月7日(木) | 7月13日(金) | 9月6日(木) | 9月14日(金) | 10月5日(金) |
| 第1單元 | | 5月22日(火) | 6月19日(火) | 7月24日(火) | 9月19日(水) | 9月25日(火) | 10月16日(火) |
| 第2單元 | | 5月23日(水) | 6月20日(水) | 7月25日(水) | 9月20日(木) | 9月26日(水) | 10月17日(水) |
| 第3單元 | | 5月24日(木) | 6月21日(木) | 7月26日(木) | 9月21日(金) | 9月27日(木) | 10月18日(木) |
| 第4單元 | | 6月7日(木) | 7月5日(木) | 8月9日(木) | 10月4日(木) | 10月11日(木) | 10月25日(木) |
| | | 6月8日(金) | 7月6日(金) | 8月10日(金) | 10月5日(金) | 10月12日(金) | 10月26日(金) |
| 第5單元 | | 6月21日(木) | 7月18日(水) | 8月22日(水) | 10月10日(水) | 10月17日(水) | 11月6日(火) |
| | | 6月22日(金) | 7月19日(木) | 8月23日(木) | 10月11日(木) | 10月18日(木) | 11月7日(水) |
| 第6單元 | | 7月5日(木) | 7月26日(木) | 9月6日(木) | 10月16日(火) | 10月23日(火) | 11月13日(火) |
| | | 7月6日(金) | 7月27日(金) | 9月7日(金) | 10月17日(水) | 10月24日(水) | 11月14日(水) |
| 第7單元 | | 7月18日(水) | 8月7日(火) | 9月19日(水) | 11月8日(木) | 11月13日(火) | 11月27日(火) |
| | | 7月19日(木) | 8月8日(水) | 9月20日(木) | 11月9日(金) | 11月14日(水) | 11月28日(水) |
| 第8單元 | | 8月7日(火) | 8月22日(水) | 10月3日(水) | 11月14日(水) | 11月20日(火) | 12月4日(火) |
| | | 8月8日(水) | 8月23日(木) | 10月4日(木) | 11月15日(木) | 11月21日(水) | 12月5日(水) |
| 第9單元 | | 8月23日(木) | 9月6日(木) | 10月11日(木) | 11月29日(木) | 12月6日(木) | 12月13日(木) |
| 第10單元 | | 8月24日(金) | 9月7日(金) | 10月12日(金) | 11月30日(金) | 12月7日(金) | 12月14日(金) |
| 第11單元 | | 9月4日(火) | 9月20日(木) | 10月24日(水) | 12月5日(水) | 12月12日(水) | 1月17日(木) |
| 第12單元 | | 9月5日(水) | 9月21日(金) | 10月25日(木) | 12月6日(木) | 12月13日(木) | 1月18日(金) |
| 第13單元 | | 10月4日(木) | 10月18日(木) | 11月21日(水) | 1月16日(水) | 1月23日(水) | 2月6日(水) |
| | | 10月5日(金) | 10月19日(金) | 11月22日(木) | 1月17日(木) | 1月24日(木) | 2月7日(木) |
| 面接試験 | | 10月27日(土) | 11月17日(土) | 1月19日(土) | 2月9日(土) | 2月23日(土) | 3月2日(土) |
| 資格認定証授与式 | | 11月16日(金) | 12月7日(金) | 2月8日(金) | 3月8日(金) | 3月15日(金) | 3月22日(金) |

受講申込書

申込FAX.052-588-3012

受講申込規程

受講料 ※下記金額には消費税が含まれております。

| | |
|-------------------|---------------|
| 日本ロジスティクスシステム協会会員 | 472,500円 / 1名 |
| 上記会員外 | 577,500円 / 1名 |

●有資格者優待

当協会の認定する下記資格を持つ方は優待料金にて受講いただけます。
該当する方は申込時に認定証のコピーを添付ください。
(対象:物流技術管理士補、国際物流管理士グリーンロジスティクス管理士、物流現場改善士)
◆日本ロジスティクスシステム協会会員420,000円
◆上記会員外525,000円

受講料に含まれるもの

- テキスト、資料代
- 審査料

受講資格

●物流に関する基本的な用語を理解している方(※物流実務経験2年程度)、もしくは物流技術管理士補の有資格者。

受講定員 80名(定員になり次第、締め切らせていただきます。)

受講申込方法

- 下記の申込用紙に必要事項を明記のうえ、ファックスまたは郵送にて事務局までお申し込みください。
- 「参加証」と「請求書」は受講日の約1週間前までにお送りいたします。お手元に届かない場合には、ご連絡をお願いいたします。
- 本講座の受け付けは、先着順とさせていただきます。あらかじめご了承ください。詳しくは事務局までお問い合わせください。

受講料支払い方法

- 請求書が届き次第、指定銀行の口座にお振込みください。
- お支払いは、原則として開催前日までにお願ひいたします。
(開催後になる場合は、入金予定日を受講申込書の支払予定日欄に明記してください。)
- 振込手数料は、お客様にてご負担願います。

【お願い】

- 受講予定の方のご都合が悪い場合は、全単元を代理の方がご出席ください。なお、代理の方のご出席も不可能な場合は、下記の規定により、キャンセル料を申し受けますので、あらかじめご了承ください。
(注)キャンセルは、ファックスでのご連絡のみ申し受けます。

【キャンセル規定】

| | |
|-------------------------|--------------|
| 開催30日前～15日前(開催日初日含まず起算) |受講料の10% |
| 開催14日前～8日前 |受講料の20% |
| 開催7日前～前々日 |受講料の30% |
| 開催前日および当日 |受講料の全額 |

※キャンセル料は原則として消費税を除く受講料をもとに計算

ご注意

- テキストは会場でお渡しいたします。テキストのみの販売はいたしておりません。
- 録音機の持込みはご遠慮ください。

受講申込先・プログラム内容の問い合わせ先

公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会

中部支部 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南4-12-17
TEL:(052)-588-3011 FAX:(052)-588-3012

本 部 〒105-0014 東京都港区芝2-28-8 芝2丁目ビル3F
人材教育部 TEL:(03)-5484-4021 FAX:(03)-5484-4031

関西支部 〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-22 ハービスENTオフィスタワー19F
TEL:(06)-4797-2070 FAX:(06)-4797-2071

会場案内

- 名古屋銀行協会 会議室
名古屋市中区丸の内2-4-2 TEL:052-231-8311

個人情報の取り扱いについて

日本ロジスティクスシステム協会では、個人情報の保護に努めております。
詳細は、当協会のプライバシーポリシー (<http://www.logistics.or.jp/privacy.pdf>)
をご覧ください。なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本講座に関する確認・連絡・受講者名簿の作成および当協会主催の関連催し物のご案内にお送りする際に利用させていただきます。

●第99期 物流技術管理士資格認定講座● 〈名古屋開催〉

| | | |
|---|---|--|
| (フリガナ) () 会社・事業所名 | <input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 会員外 | 支払予定日(開催後になる場合はご記入をお願いいたします) 月 日 支払予定 |
| (フリガナ) () 派遣責任者 | 所属・役職名 | |
| 勤務先住所 〒 - | TEL: - - FAX: - - E-mail: | |
| (フリガナ) () 受講者1 | 所属・役職名 | 受付NO |
| 勤務先住所 〒 - | TEL: - - FAX: - - E-mail: | |
| 物流実務経験(年) <input type="checkbox"/> 有資格(資格名称:) | | |
| (フリガナ) () 受講者2 | 所属・役職名 | 受付NO |
| 勤務先住所 〒 - | TEL: - - FAX: - - E-mail: | |
| 物流実務経験(年) <input type="checkbox"/> 有資格(資格名称:) | | |
| 名 円 | ※請求書は原則として合計金額を派遣責任者の方にお送りいたします。その他、請求先のご希望は「協会への連絡事項」へご記入ください。 ※ | |

協会への連絡事項

| 受付日 | 請求日 | 請求番号 |
|-----|-----|------|
| | | |